

東京都シルバー人材センター連合 シルバー総合保険制度についてのご案内

1. シルバー総合保険制度とは (保険期間 令和2年4月1日午後4時～令和3年4月1日午後4時まで)

(1) シルバー人材センターの正会員が、①就業中や就業場所への行き帰りに偶然に被った傷害事故、および熱中症を補償の対象とする「シルバー人材センター団体傷害保険」と、②就業中に事故が発生し、他人の身体や財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負うこととなった場合を補償の対象とする「シルバー人材センター賠償責任保険」の2つの補償を組み合わせた保険制度です。

(2) 保険契約者は、区・市・町・村の各シルバー人材センターです。

2. 「シルバー人材センター団体傷害保険 (普通傷害保険)」のあらまし

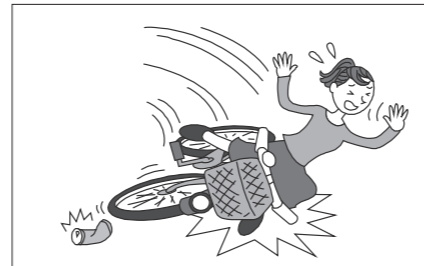
(1) 対象となる傷害事故例 (急激かつ偶然な外来の事故によるケガが対象となります。)



センターから提供された業務に就業中のケガ
(ただし住居で仕事に従事する場合を除きます。)



センター等が主催するボランティア活動に
参加中のケガ



センターから提供された業務に従事するため、
就業場所と会員の住居との間の行き帰り中のケガ

※ 傷害事故の他に、熱中症(日射または熱射によって、シルバー人材センターの会員が身体に障害を被った場合)による死亡・後遺障害・入院(手術)・通院も補償します。『請負就業・派遣就業ともに対象です。』

(2) 支払われる保険金

保険金の種類	要件	保険金額
死亡保険金	事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合	450万円
後遺障害保険金	事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合 お支払いする後遺障害保険金の額は、保険期間を通じ、死亡・後遺障害保険 金額を限度とします。	18万円～ 450万円
入院保険金	事故によりケガをされ、入院された場合、事故の発生の日からその日を含めて 180日以内の入院日数	1日4,500円
手術保険金	事故の発生の日からその日を含めて180日以内にそのケガの治療のために 病院または診療所において、公的医療保険制度の対象となる手術や先進医療 手術を受けた場合、手術保険金をお支払いします。ただし、1事故につき1回の 手術にかぎりあります。	外来手術 22,500円 入院手術 45,000円
通院保険金	事故の発生の日からその日を含めて180日以内の通院日数に対し、90日を 限度として、1日につき通院保険金日額をお支払いします。ただし、入院保険 金をお支払いするべき期間中の通院に対しては、通院保険金をお支払いし ません。	1日3,000円

(3) 保険金が支払われない主なケース

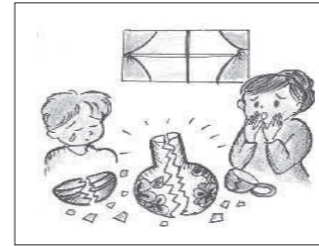
故意、自殺行為、犯罪行為、闘争行為、無資格運転、酒気を帯びた状態での運転、疾病、脳疾患、心臓疾患、心神喪失、地震・噴火またはこれらによる津波、放射能汚染、むちうち症や腰痛などでレントゲン等により医師がその異常を確認できないもの(医学的他覚所見のないもの)、自宅作業中、宿泊を伴う場合 など

3. 「シルバー人材センター賠償責任保険 (賠償責任保険)」のあらまし

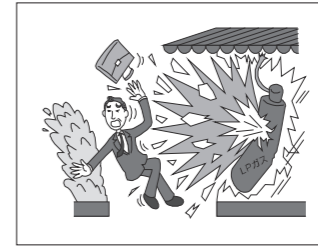
(1) 対象となる賠償責任事故例は



作業中、誤って物を落とし
通行人にケガをさせた
(請負業者特約)



作業中に、誤って花瓶や
鉢を壊した
(受託者特約)



作業完了後、作業の欠陥により
他人にケガをさせた
(生産物特約)



事務所施設の欠陥により
他人にケガをさせた
(施設所有管理者特約)

(2) 支払われる保険金 ※ 保険金お支払いの際に1,000円の自己負担金が必要になります。
(受託品の修理・加工中の事故の場合は10,000円の自己負担金が必要になります。)

賠償責任の種類	身体賠償(限度額)	財物賠償(限度額)
請負業者特約	1名につき 1事故につき 3,000万円 1億円	— 1,000万円
受託者特約	1事故につき 保険期間中 — —	1,000万円 1,000万円
生産物特約	1名につき 1事故につき 保険期間中 3,000万円 1億円 1億円	— 1,000万円 1,000万円
施設所有管理者特約	1名につき 1事故につき 3,000万円 1億円	— 1,000万円

(3) 保険金が支払われない主なケース ※ 代表的な例です。特約の種類によって異なります。

- ・ 故意、暴動、地震、噴火、洪水、津波またはこれらに類似の自然変象に起因する賠償責任
- ・ 世帯を同じくする親族に対する賠償責任
- ・ 排水または排気(煙または蒸気を含みます。)による賠償責任
- ・ 自動車(道路運送車両法<昭和26年法律第185号>によって定められる自動車<構内専用車を含みます。>および原動機付自転車をいいます。)の所有、使用または管理に起因する賠償責任
- ・ 建具工事完成後、建具の取り付け方に欠陥があり、その部分を補修したために生じた費用損害など仕事の目的物の損壊それ自体に対する賠償責任(仕事の目的物が一部構成する財物の損壊を含みます。)
- ・ 受託物の紛失または誤配(留守番の最中、現金・貴金属・有価証券等を盗まれた。)
- ・ 自動車、船舶、動植物の損壊または盗難(預かっていた犬が逃げってしまった。植木の剪定により植木が枯れてしまった。剪定対象ではない植物を剪定してしまった。)
- ・ 派遣就業 など

※ 賠償金額の決定には、事前に損保ジャパン日本興亜の承認を必要とします。

<引受保険会社> 損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、関係当局の認可を前提として、
2020年4月1日に商号を変更し、「損害保険ジャパン株式会社」になります。

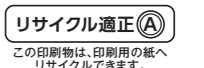
シルバー総合保険制度は、次の損害保険会社による共同保険です。
損害保険ジャパン日本興亜株式会社(幹事保険会社) 東京海上日動火災株式会社(副幹事保険会社)

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容については、下記取扱代理店までお問い合わせください。

<問い合わせ先> 取扱代理店 (公財)東京しごと財団 シルバー保険事業室
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階
【受付時間:平日9:00~17:00】 TEL:03(5211)2319 FAX:03(5211)2367



傷害事故・賠償事故が起こった場合は、遅滞なく、ご所属のシルバー人材センターまでご連絡ください。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。